

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市民生活部		
	課名	防災交通課		
	係名	消防防災係		
	記入者		電話(内線)	281

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称			総合防災訓練開催事業			(3) 事業の 優先度		A	
(4) 総合計画での位置づけ						(6) 事業主体		市				
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)				
② 施策コード	24102		(総合計画掲載ページ 77 ページ)				会計区分	一般会計				
基本目標(政策)	2		安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)				財源区分	市単独				
基本施策	4		安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)				予算科目	款 9		項 1	目 5	
施策			防災対策の充実				予算書上の	防災広場開催事業費				
施策内容			防災訓練の実施				事業名称	(予算書 154 ページに掲載)				
(5) 事業期間							(8) 事務分類		自治事務			
開始 平成 19 年 4 月から						根拠法令		災害対策基本法				
終了 年 月まで (力年)												

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
地域住民, 就学予定児童, 高齢者クラブ, 自主防災会, その他防災関係団体	防災訓練への参加を通じて, 市民の防災対策に関する意識と自主防災技術の普及向上を図り, 関係団体との連携強化に努める
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
大規模地震を想定した参加型の総合防災訓練 (避難誘導訓練, 広報通信訓練, 初期消火訓練, 救助救出訓練, 応急救護訓練他)	市民の防災意識が高まっていることから
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境, 市民ニーズ等)や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応 実践的な訓練種目の導入と, 各地区の避難所及び施設管理者参加による地域防災意識の啓発	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		26 年度		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度	
(1) 事務事業費	総合防災訓練第8回防災広場	1,136									
	総合防災訓練第9回防災広場			1,538							
	総合防災訓練第10回防災広場										
	総合防災訓練第11回防災広場										
	総合防災訓練第12回防災広場										
	合計	1,136		1,538							
	財源	国庫支出金（千円）									
県支出金（千円）											
地方債（千円）											
その他特定財源（千円）											
一般財源（千円）		1,136		1,538							
合計（千円）		1,136		1,538							
補助・起債制度名											

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）								
指標の名称			単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	訓練種目	目標値	種目		10	10	10	10
		実績(見込)値		10	10			
	開催日数	目標値	日		1	1	1	1
		実績(見込)値		1	1			
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	訓練参加者	目標値	人		1,750	2,000	2,000	2,000
		実績(見込)値		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		達成率		75.0 %	75.0 %			
		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			
5. 事業評価								
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。								
鹿窪運動公園の利用を止め、別な場所での開催を検討されたいという最終評価を受け、今年度においてはアクロス駐車場を会場として実施予定である。								
(2) 項目別評価								
評価項目・客観的評価				理由				
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	地域の防災意識の高まる中、合同で行う訓練は必要である。				
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である					
	手段の妥当性	A	妥当である	消防署、消防団等と地域の方達が訓練に参加してもらい、共通の訓練を実施することは妥当である。				
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	住民及びボランティアの参加により実施しているため、コストの削減につながっている。				
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市民全体に参加を呼び掛けているので、偏りはない。				
有効性	成果の向上	A	上がっている	前年の反省点を活かしつつ、訓練の内容を見直しているため、成果は上がっていると思われる。				
進捗度	事業の進捗	A	順調である					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。								
今年度より会場を変えることにより、例年行っている訓練より規模を縮小せざるを得ない状況である。								
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？								
規模の縮小に伴い、訓練内容を精査し、より身近で効果的な訓練にしていく。また、防災行政無線の運用開始に合わせ、それらを活用する訓練も検討していく。								
6. 事業の方向性判断								
評価主体		27年度以降の事業の方向性		評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）		注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）		総合防災訓練は、年1回毎年実施しており、大規模災害を想定した参加型の総合防災訓練となっている。地域防災意識の向上を図るため、訓練種目等を検討しながら継続していく。また、今年度からアクロス駐車場に会場が変更となるので、内容の精査検討が重要である。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う				上記評価のとおり。				